

## 「福井元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井元気宣言」に掲げられた「元気な産業」、「元気な社会」、「元気な県土」、「元気な県政」の4つのビジョンを着実に実現していくため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、特に、今年度は、次に掲げる施策・事業について重点的に取り組むことを西川一誠知事と合意します。

平成17年4月

福井県知事 西川 一 誠

産業労働部長 藤原 宣章

### 基本姿勢

- ・ 産業の活力や働く場がなければ、「福井の元気」はありえないとの基本的な考え方に基づいて、本県が優位性を有する蓄積された技術、勤勉で働き者といわれる県民性、豊かな観光資源など本県の潜在力を十分活かし、地域経済の活性化につながる施策を積極的に推進します。
- ・ 「最先端技術のメッカづくり基本指針」に基づき、将来の本県産業を支える新たな産業クラスター形成を目指し、産学官が一体となって最先端技術開発に取り組めます。
- ・ 市町村と連携し、特に将来性の高い先端技術産業やコールセンターなどをターゲットに全力で企業誘致に取り組めます。
- ・ 「ビジット“ふくい”推進計画」に基づき、観光事業者、観光協会、市町村、観光連盟、県が、それぞれ計画推進の主体として、明確な役割を持って、観光地の活性化など4つの戦略による施策を重点的に実施します。
- ・ 国に採択された「若年者のためのワンストップサービスセンター」モデル事業によって既設の「若者就職支援センター（ジョブカフェ）」の機能を充実・強

化し、若者の人材育成・就職促進を図るなど、効果的な雇用対策を講じ、15,000人の雇用創出に取り組みます。

## 取組項目

### 重点項目

#### 1 産力強化

- ・ 福井県産力戦略本部において策定した「最先端技術のメッカづくり基本指針」に基づき、国の公募提案型競争的資金を活用し、最先端技術の創造を目指す技術分野で、60社程度の企業が参加する5つの研究会を設置するなど、新たな産業クラスターの形成に向けた具体的な取組みを開始します。
- ・ 県内企業の知的財産の活用を促進するため、「福井県知的財産活用プログラム」に基づき、ものづくりにおいて重要な知的財産に関する意識啓発や、国際的な事業展開を目指す県内企業の国際特許出願の支援などを行います。

|              |      |
|--------------|------|
| 知的財産セミナー参加者数 | 300名 |
| 国際特許出願支援件数   | 6件   |

- ・ 優れた技術・製品を有する県内企業の競争力強化や販路拡大を図るため、伊藤忠商事との戦略提携に基づき、共同で県内企業の技術開発のサポートや製品のマーケティングなどの支援を行います。

|               |     |
|---------------|-----|
| 伊藤忠商事との共同支援件数 | 10件 |
|---------------|-----|

#### 2 積極的な企業誘致活動の展開

- ・ 「アタック500」をスローガンに「福井の営業マン」としての気概を持ち、先端技術産業や雇用吸収力の高いコールセンターなどの誘致に総力を挙げて取り組みます。

|        |    |      |
|--------|----|------|
| 企業訪問   | 延べ | 500社 |
| 企業立地件数 |    | 15社  |

### 3 ビジットふくい

- ・ 全部局で取り組む「ビジットふくい」の推進に加え、市町村や観光事業者、観光関係団体と連携して季節毎に現場に出向き、観光客入込み状況を把握し観光客の声を直に聴き取るなど、観光に関する正確な数字や観光地の評価を収集・分析し、明確な目標をもった観光施策を推進します。

- ・ (社)福井県観光連盟は現地に出向き、観光事業者、観光協会、市町村等との結びつきを強め、「売れる旅行商品」の開発を促進するとともに、ターゲットを絞った観光客誘致に取り組みます。その際、観光プロデューサーの専門的ノウハウを十分活用します。

〔 秋・冬向けの新たな旅行商品の開発 10 商品 〕

### 4 15,000人の雇用創出

- ・ 経済産業省の「若者のためのワンストップサービスセンター」モデル事業の採択を受け、「若者就職支援センター(ジョブカフェ)」の機能を充実・強化し、県内の経済界や公共職業安定所と一体となって、職業教育から就職支援、職場定着まで一貫したフリーター、若年無業者、学生等の就職支援を行います。

〔 ジョブカフェ利用の就職人数 1,000人(学生を含む) 〕

- ・ 求人と求職がかみ合わない状態(雇用のミスマッチ)を解消するため、中高年の失業者の意識啓発に主眼をおいたセミナーを開催します。また、産業技術専門学院において、講義と企業実習が一体となった職業訓練(デュアルシステム)を実施します。

〔 セミナー参加者 500人  
デュアルシステムによる訓練受講者の7割就職 〕

- ・ 福井県Uターン情報センターにおいてジョブカフェとの連携を図りながら、ワンストップサービスを行うとともに、無料職業紹介を実施します。また、東京、大阪の福井Uターンセンターにおいて、首都圏、大阪圏の大学等を積極的に訪問し、本県出身者のUターン就職を促進します。

〔 Uターン就職人数 50人  
大学等訪問数 延べ 200校 〕

## 個別項目

### 1 新しい技術開発による産業の高付加価値化

- ・ 企業訪問による共同研究の提案やセミナーの開催、県内大学との共同研究に対する支援などにより、県内企業の産学官共同研究への参加を促進します。また、工業技術センターでは、県内企業の身近な研究パートナーとして、企業ニーズに対応した共同研究を行います。

〔 新たに産学官共同研究に参加する企業数 36 社 〕

- ・ 工業技術センターをはじめとする試験研究機関において、繊維や金属加工、バイオテクノロジーなど本県が有する優れた技術を基にした先端技術開発を行います。また、開発した技術の企業等への移転を積極的に行うとともに、企業における事業化に向けた取組みを支援します。

〔 試験研究機関の特許出願件数 10 件  
成果移転研究件数 7 件  
事業化研究支援企業数 7 社 〕

- ・ 工業技術センターでは、保有する特許やノウハウを積極的に県内企業に利用してもらうため、研究者が自ら、研究実績や研究に懸ける思いを紹介するためのホームページを作成し、より親しみやすく利用しやすい研究機関を目指します。

### 2 やる気のある企業や創業に対する強力なバックアップ

- ・ (財)ふくい産業支援センターに、民間企業で豊富な実務経験を持ち、企業経営に精通したプロジェクトマネージャーを引き続き配置するとともに、商工会議所との連携を強化するなど、「5,000の新規創業」達成に取り組みます。

〔 プロジェクトマネージャー等の企業訪問 延べ 270 社  
(財)ふくい産業支援センターの支援による新規創業 70 社、経営革新 50 社  
商工会議所等民間の支援による新規創業 180 社 〕

- ・ 無担保、第三者保証人不要で最高1億円を融資する開業特別支援資金などを活用し、雇用創出効果の大きい製造業や情報サービス業を中心に、県内外の意欲ある人材による創業を強力に支援します。

|                            |      |
|----------------------------|------|
| 開業特別支援資金による新規創業            | 30 社 |
| 意欲ある企業支援資金による新たな事業展開（第二創業） | 30 社 |

- ・（財）ふくい産業支援センターにおいて、現場主義・顧客主義・成果主義に徹し、統合による産業支援機能の一元化の成果を十分に生かして、本県経済の活性化に寄与する企業を重点支援企業として位置づけ、集中的に支援し、企業の成長・発展を促進します。

|                                         |      |
|-----------------------------------------|------|
| 販路開拓、企業連携の促進、優秀な人材確保などの支援により売上増等の成果をあげる |      |
| 企業                                      | 30 社 |
| 女性企業家異業種交流会の開催                          | 3 回  |
| 女性の新規創業                                 | 5 社  |

- ・産学官連携による福井発の独自ソフトウェア開発など、雇用の拡大が見込まれるIT関連産業を育成します。

|                             |      |
|-----------------------------|------|
| 福井発独自ソフトウェア開発に向けた企業・大学の共同研究 | 10 件 |
| 共同研究を踏まえたソフトウェア開発の取組み       | 2 件  |

- ・県内外の先進的なサービス業の成功事例に関する情報提供や、地域助け合いビジネスの起業化支援、商業・サービス業を担う人材の育成などを通じてサービス産業の活性化を図ります。

|                          |      |
|--------------------------|------|
| ホームページで先進的サービス業成功事例の情報提供 |      |
| 地域助け合いビジネスに取り組む事業者       | 10 社 |
| 人材育成セミナー参加者の7割が個店改善      |      |

- ・「ふくい南青山291」の運営を民間事業者に業務委託し、企業の経営手法を取り入れ、運営経費の節減や展示県産品の販売増に取り組みます。また、東京・大阪圏にアドバイザーを設置し、県内企業の取引拡大のためマッチング等を実施します。

|                      |              |
|----------------------|--------------|
| ふくい南青山291の来館者数および売上額 | 上期 前年度比 5%増  |
|                      | 下期 前年度比 10%増 |
| 東京・大阪圏などでの取引あっせん件数   | 200件         |
| うち成約・見積件数            | 30件          |

### 3 新たな販路開拓

- 平成16年3月に策定した「東アジア・マーケット開拓戦略プラン」に基づき、本県企業の海外での展示商談会への出展等を支援します。

|                 |      |
|-----------------|------|
| 東アジアでの県内企業の商談件数 | 800件 |
| 東アジアでの県内企業の成約件数 | 85件  |

### 4 海外との経済交流の促進

- 東アジアにおける県内企業の販路開拓を支援するため、上海事務所ビジネスコーディネーターの利用を促進します。また、海外事務所が前線基地となって県産品の売込みや観光客誘致を行います。

|                           |            |
|---------------------------|------------|
| 県内企業のビジネスコーディネーターへの相談件数   | 50件        |
| 東アジアでの県内企業の成約件数（海外事務所支援分） | 50件        |
| 17年度売込み品目                 | 上海：眼鏡 香港：米 |
| 外国人旅行者数（海外事務所誘客分）         | 800人       |

- 県が海外から受け入れる国際交流員等を本県と海外の経済交流に活用します。また、これまで中国浙江省などから受け入れた研修員のネットワークを構築し、その情報を県内経済界に提供します。
- 中国での本県の知名度アップや中国との交流促進に活用するため、魯迅と藤野巖九郎との関係について、あわら市と協力して中国の魯迅記念館の所蔵品など関係資料の調査およびその活用方法の検討を行います。

### 5 活かそう熟年パワー

- 熟年人材情報や仕事探しに必要な情報およびシルバー人材センターの活動事例などを掲載したホームページにより県民の方に広く熟年者の情報を提供

し、企業を支援します。

〔 シルバー人材センター就業延べ人数 880,000 人 〕

## 6 敦賀港、福井港のポートセールスの推進

- ・ 企業誘致や貿易振興と連携したポートセールスを推進し、敦賀港および福井港の利用企業数、取扱貨物量の増加に取り組みます。

〔 企業訪問 延べ 200 社  
敦賀港 コンテナ貨物の利用企業数 前年比 5%増  
取扱貨物 前年比 1,000TEU 増  
福井港 外航船入港隻数 80 隻 〕

## 7 まちづくり

- ・ アーケードの整備や空き店舗を活用したチャレンジショップの設置・運営を行うとともに、1店1品運動をはじめとする商店街等の創意工夫による活性化事業に対し支援を実施します。

〔 1店1品運動検討会参加者の7割が運動実践  
福井駅前電車通り・福井駅前南通りのアーケード整備  
チャレンジショップ 5店舗 〕

- ・ 福井駅前において、若手経営者、新規出店者、学生等と協働して、まちの情報発信力の強化や商店街の魅力向上につながる体制づくりに取り組みます。

## 8 観光客をひきつける魅力づくり

- ・ 本県の観光地を連想させる魅力ある土産品の開発を促進するため、開発・改良に熱心に取り組む土産品製造業者を支援するとともに、菓子土産品を全国にPRするイベントを開催します。

〔 土産品研究会に参加する製造業者・加工業者 40社  
改良された土産品 5品目 〕

- ・ 「語り部」や通訳ボランティアガイド、エコグリーン・ツーリズム・インストラクターなど観光客と直に接する人材を育成することにより、県全体のホス

ピタリティの充実に取り組みます。

〔 「語り部」や通訳ボランティアガイドなどの登録人数 600人 〕

- ・ 国内旅行志向が強い中高年齢層や旅行先の決定権を握るといわれる女性をターゲットとして、情報発信や観光コースの開発に取り組みます。
- ・ 教育旅行の誘致に当たっては、中京・関西地区を主なターゲットとするほか、姉妹関係のある地域を対象に重点的に取り組みます。

〔 県外小中学校等訪問件数 延べ 100件  
県外からの教育旅行（体験学習）者数 5,000人 〕

## 9 サンドーム福井の利活用

- ・ 県民がより利用しやすい県有施設として、無料貸出日の設定や外周ジョギングコースの設定などを行うとともに、産業会館など他の施設と連携し、イベント企画業者等への積極的なセールスを展開します。

〔 営業活動回数 250回 〕

## 10 「ふくい2030年の姿」の具体化

- ・ 健康な60歳から75歳までの「達年」と呼ばれる高齢者の技能や経験を活用する場の提供や、豊富な技能や経験を有する方々を県外から本県に呼び込むことなど、地域社会の活力を高める仕組みを検討します。
- ・ 炭素繊維開繊技術や光ファイバー織物技術など、世界をリードする最先端技術に発展する可能性の高い、福井県の有する「他に真似のできない技術」を国際的な学会等で発表するなど、福井の「みらい技術」を世界に向けて発信する仕組みを検討します。
- ・ 県民が地域活動に参加する「福縁福井」に向けて、女性や「達年」をはじめとする多様な地域住民が主体となって、介護やまちづくりなどの地域課題を解決する地域助け合いビジネスが活発に展開されるよう、ふくいの地域特性に沿ったニーズの発掘とその事業化手法の検討を行います。